

# ま ち の 話 題

## 寄付

(故) 後藤尚武 様 ご遺族様 100,000円

(故) 後藤尚武様の香典の一部を社会福祉協議会にご寄付頂きました。

## 「まもってくれてありがとう運動」モデル校に朝日小学校が指定されました！

四日市北地区交通安全協会と朝日町は、町内の交通安全意識向上のため、「まもってくれてありがとう運動」を展開しています。

9月25日に朝日小学校がこの運動のモデル校として指定を受けましたので、みんなでこの運動を通じて交通安全に努めましょう！

### 「まもってくれてありがとう運動」とは？

道路を横断する歩行者等が止まってくれた車に対して「ありがとう」とお礼の気持ちを表すとともに、安全確認を行い、また、ドライバーは、横断歩道を渡る歩行者等を見かけたら一時停止して歩行者等を横断させるという歩行者優先ルールへの順守を浸透させるための取り組みです。



## 高齢者等見守り活動の協力に関する協定について

当町では、高齢者等ができる限り住み慣れた地域で、支え合いながら暮らせるまちづくりを目指し、町内を巡回する機会が多い民間事業者「生活協同組合コープみえ」と協力し、業務中に高齢者等の異変に気付いたときは、業務に支障のない範囲で役場担当課又は関係機関へ情報を提供していただく協定を9月25日に締結しました。



## 知事と町長の1対1対談が開催されました

10月9日(金)、鈴木知事と矢野町長が直接対談する「1対1対談」が保健福祉センターにて開催されました。

当日の対談の概要につきまして、下記の通りお知らせいたします。

### 1. 防犯対策の強化について(警察施設の設置要望)

昨年度に引き続き、県内市町では唯一朝日町には警察施設がないため、犯罪の被害者になりやすい女性や子どもを守るために警察施設の設置を要望いたしました。

今後も人口の増加が見込まれることなどから、鈴木知事からは「朝日町への交番設置費用を来年度の予算案に盛り込む」と警察施設の設置に向けて大きく前進する回答をいただきました。

### 2. コロナ禍における避難所対策について

激甚化する自然災害と新型コロナウイルス感染症により避難所の確保が課題となっているため、県主導による隣接した市町に避難する広域避難の受入れ体制整備を要望いたしました。

本町が川越町と避難に関する協定を締結している状況

から、鈴木知事からは「三泗地区の菰野町、四日市市へ県から呼びかけを行い、広域避難の選択肢を増やす取り組みを行いたい」と回答をいただきました。

### 3. 朝日町における水稻を中心とした農業への支援について

町内産のブランド米栽培に関する技術指導、農地保全・農業施設の老朽化に対する支援、農業の担い手の育成・確保に関するご協力を要望いたしました。

鈴木知事からは「栽培に関する技術的な支援、農地保全等のため予算の確保や情報提供を行うとともに、農業に携わる人を増やす取り組みを市町と連携して行ってほしい」と回答をいただきました。

対談終了後に、今年度から始まった「PEEK-A-BAMBOO! あさひ竹プロジェクト」について、ご紹介させていただきました。2016年の伊勢志摩サミットにて配偶者プログラムとして、鈴木知事も竹あかりの制作をしたことから、あさひ竹プロジェクトに関心を持っていただきました。



## 「災害時及び緊急時における飲食物等の供給協力に関する協定」が締結されました。

災害時や緊急時でも飲食物等が供給できる体制強化のため、10月15日に川越町・朝日町・(株)モルタン・朝明商工会の4者間で官民連携による協定が締結されました。

### <協力内容>

- ☆炊き出し…要請により避難所などでの不足する飲食物等を配給する。
- ☆飲食物の提供…キッチンカーなどが要請場所に出向き、飲食物を提供する。

